

氏名	小島 真二
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 3331 号
学位授与の日付	平成19年3月23日
学位授与の要件	医歯学総合研究科社会環境生命科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)

学位論文題目	Practicality of Veterans Specific Activity Questionnaire in Evaluation of Exercise Capacity of Community-Dwelling Japanese Elderly (日本の地域在住高齢者の運動能力評価における Veterans Specific Activity Questionnaire の有用性)
--------	---

論文審査委員	教授 尾崎 敏文 教授 大塚 頌子 助教授 光延 文裕
--------	-----------------------------

学位論文内容の要旨

【目的】非侵襲的な質問紙による運動能力の評価法である Veterans Specific Activity Questionnaire (VSAQ) に着目し、介護予防の場における運動処方のある有用な指標になるかを検討した。【方法】岡山県矢掛町在住の高齢者 121 名を対象とし、年齢、性別、主観的健康感、運動習慣および VSAQ を調査し、VSAQ によって予測される運動能力 (predicted METs) とその他の因子の関係を検討した。そのうち 36 名には、6 分間歩行距離テスト (6MD) を実施し、predicted METs との関係を検討した。さらに日本人高齢者に適するように改変した VSAQ (modified VSAQ) を作成し 50 名に試行し、その有用性を検討した。【結果】年齢と predicted METs には相関を認めた。運動習慣や主観的健康感 は predicted METs に影響を及ぼさなかった。また predicted METs と 6MD には有意な相関が認められた。VSAQ の質問項目には日本の高齢者に馴染まない項目があり不適切な回答が目立ったが、modified VSAQ では不適切な回答は減少した。

【結語】modified VSAQ は、日本人高齢者の運動能力を適切に評価でき、有用な運動指導のためのスケールと考えられた。

論文審査結果の要旨

本研究は、非侵襲的な質問紙による運動能力の評価法である Veterans Specific Activity Questionnaire (VSAQ) に着目し、介護予防の場における運動処方のある有用な指標になるかを高齢者 121 名を対象に検討している。その結果、年齢と predicted METs には相関を認め、運動習慣や主観的健康感 は predicted METs に影響を及ぼさなかった。また、predicted METs と 6MD には有意な相関が認められた。VSAQ の質問項目には日本の高齢者に馴染まない項目があり不適切な回答が目立ったが、modified VSAQ では不適切な回答は減少した。

これらは重要な知見を得たものとして価値のある業績と認める。よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。